

科目	単位	時間	履修 学年	講師名
病態治療各論 II	1	30	1	医師 医師 医師 医師 医師 (公益社団法人 地域医療振興協会に委託)
ねらい	人体の機能を基本とし、消化器、感覚器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			
1回目 (講師)	【消化器内科】 講師 (12 時間) 1. 症候論、処置、治療 2. 1) 検査(CT まで)、 2) 検査(MRI) 3. 疾患の理解 1) 食道疾患、胃疾患 2) 腸疾患 3) 肝臓・胆嚢・胆管の疾患 4) 肝臓、膵臓の疾患			講義
2回目 (講師)				講義
3回目 (講師)				講義
4回目 (講師)				
5回目 (講師)				
6回目 (講師)				
1回目 (講師)	【消化器外科】 (5 時間) 外科的療法 1)食道がん(食道切除術・再建法) 2) 胃がん(胃切除術・胃全摘術) 3)大腸がん(右半切除術・左半切除術・S 状結腸切除術・低位前方切除術・マイルズ術・ハルトマン術) 4)肝臓がん(肝切除術) 5)膵臓がん(膵頭十二指腸切除術)			講義
2回目 (講師)				講義
3.5 回目(45分)(講師)				
1回目 (講師)	【感覚器】 講師・講師・講師 (耳鼻科 4 時間・眼科 4 時間・皮膚科 4 時間) 1. 耳鼻科疾患の症状とその病態生理 1) 耳(難聴、耳鳴、耳閉塞感、眩暈、耳漏、耳痛、顔面神経痛) 2) 鼻(鼻閉、くしゃみ、嗅覚障害、鼻声、鼻漏、鼻出血、鼻痛、神経症状) 3) 咽頭(咽頭痛、呼吸障害、嚥下障害、知覚異常) 4) 喉頭(音声・言語障害、呼吸障害、せき・喀たん、嚥下障害) 検査と治療(聴力検査、平衡機能検査、副鼻腔検査、 耳管通気検査、内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、画像検査) (耳の処置、鼻の処置、咽喉頭の処置、手術療法)			講義
2回目 (講師)				

1 回目 (講師)	2. 眼科疾患の症状とその病態生理	講義
2 回目 (講師)	1) 視機能に関連した症状 (視力障害、視野異常、色覚異常、夜盲、眼精疲労等)	
	2) 視機能に関連しない症状 (充血、流涙、眼脂、羞明、異物感、掻痒感等)	
	3) 検査と治療 (視力、屈折、開瞼、細隙灯顕微鏡、眼底、眼圧、瞳孔等) (点眼、洗眼、眼帯、注射、ブジー、光凝固、屈折矯正、義眼、麻酔等)	
	4) 疾患の理解 (屈折の異常、眼瞼、結膜、涙器、角膜、強膜、ぶどう膜、眼底、水晶体、硝子体、緑内障、眼球・眼窩、視神経、外傷等)	
	5) 手術 (白内障、緑内障、網膜剥離、硝子体、斜視、角膜移植、眼球摘出)	
	6) 疾患の理解 (耳疾患、鼻疾患、咽喉頭疾患、気道・食道・頸部疾患)	
1 回目 (講師)	3. 皮膚科の症状とその病態生理 (発疹、掻痒、皮膚の老化)	講義
2 回目 (講師)	1) 検査と治療 (免疫アレルギー検査、光線過敏性検査、病原微生物の検査) (内服、外用、手術、光線、レーザー、放射線、電気外科、凍結、温熱)	
	2) 疾患の理解 (湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、痒疹、紅斑症、薬疹、紅皮症、水泡症、膿疱症、角化症、真皮・皮下組織疾患、脈管系、物理・化学的皮膚障害、腫瘍・色素異常症、感染症、内臓疾患に伴う皮膚病変)	
15 回目	終講試験	試験
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 講師・講師：成人看護学⑤消化器 講師：成人看護学⑭耳鼻咽喉 講師：成人看護学⑫皮膚 講師：成人看護学⑬眼 (医学書院)	
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] :) 講師:40点 ・講師:20点 講師:14点 ・講師:13点 ・講師:13点	
備考		